

## 酷暑

赤谷慶子

過去數年夏の氣温は最高値を更新してあり。本夏もこれまでなかりし高溫と報道せられき。廿七度及び廿八度と人の平熱より高し。高齢者熱中症にて救急搬送せられ、救急車の出動數多く、足らざるが如し。

世界各地、歐州及び米國にも例年になき暑さ續けり。然れども、歐州の北よりの國々には冷夏の所もあり。妹家族は獨逸北部の古都ムンスター在住なり。氣温低く、夜は十五度をはるかに割りており、寒きなり。日中も廿度には滅多にならずとの事。

偏西風の向き、あるいは海水温の差によるものなりや、不可思議なり。原因は地球温暖化にありて、日本周邊の海水温高く、東京湾には熱帶魚多く生息しをり、珊瑚まで見らるとの由。魚のたぐひまで海水温に影響され、これまでの漁場とは異なる場所にて魚捕る。過去二年秋刀魚不漁なれど、今年の秋刀魚は丸々と太りて、先週食すれどいと旨かりき。

私は寒さ苦手にて、これまで夏戀しけれど、この暑さ續きに、冬こそ良からぬやと思ひ至れり。寒くばあまた服重ねれば凌ぐこと可能にて、暑きはどうにもならず、辟易せり。

今年は神無月まで暑さは残るべく、秋の風情は感じられざるにあらずや。少なくとも東京には春短く、梅雨は二週間、後は皐月より夏になりき。農業、漁業、畜産等にもこの暑さの影響はいでたり。來年も酷暑ならむやと憂へらる。

(令和七年九月四日受附)